　　　圓窓師匠を囲んで

　10月19日、大先輩である六代目三遊亭圓窓師匠(11期橋本八郎氏)の教え子の落語発表会に行く機会があった。締めの挨拶で師匠は、月日の流れを感じさせない張りのある声、さすがの巧みな話術に感動を覚えた。

打ち上げ会場は、23期内田節也氏のお店。別席で飲んでいた私たち24期生のところに、わざわざ挨拶に来てくださった師匠。届いたばかりの『紫筍』最新刊に目を通した師匠から、高校時代の話があれこれと披露され、そのエピソードに笑いが溢れた。

近年は小学校に出向き、落語の授業をしているという。未来を担う子どもたちに、落語を知ってもらい、伝統を繋ぐ役割を果たされている。思いもかけず文京談義に花が咲き、恩師のこと、昔日の部活や勉学のことなど、話はつきず、学年を超えて、何とも楽しい同窓会となった。

　　　　　24期I組　飯島・田中・外川